

## ここまでの交渉経過を振り返りましょう！

【第2回交渉 要求の根拠 を簡単にまとめると…】

組合：「昨年度は物価上昇していないとの会社の認識によりベアゼロであったが、10月以降物価上昇しており、賃金(初任給含めて)が低い青年部員は死活問題である。来年度黒字の計画ならば、ベア実施できるはず！  
内部留保金は使えないというが、経団連は将来的な備蓄と投資に使用するものと回答している。“人への投資”はできるはずである。」

会社：「コロナ禍や雪害による大幅な減収により黒字確保が厳しい状況である。」

【第3回交渉 会社の考え を簡単にまとめると…】

会社：「豪雨、山陽線脱線事故、雪害により改定収入計画から約23億円未達の厳しい状況にある。我が社の離職率は1.2%と一般より低水準にある。  
家族手当を基準内賃金に含む考えはない。」

組合：「若年退職の多くの理由は賃金が低いことである。また退職以外でも若年層の鬱や病欠が多く出ている。光熱水費や物価のみならず、JR健保の保険料も上がる。ベア6000円実施は絶対必要である！」

**汗水流して働く組合員に報いようとしない姿勢は許さない… みんなで勝ち取ろうベースアップ！**